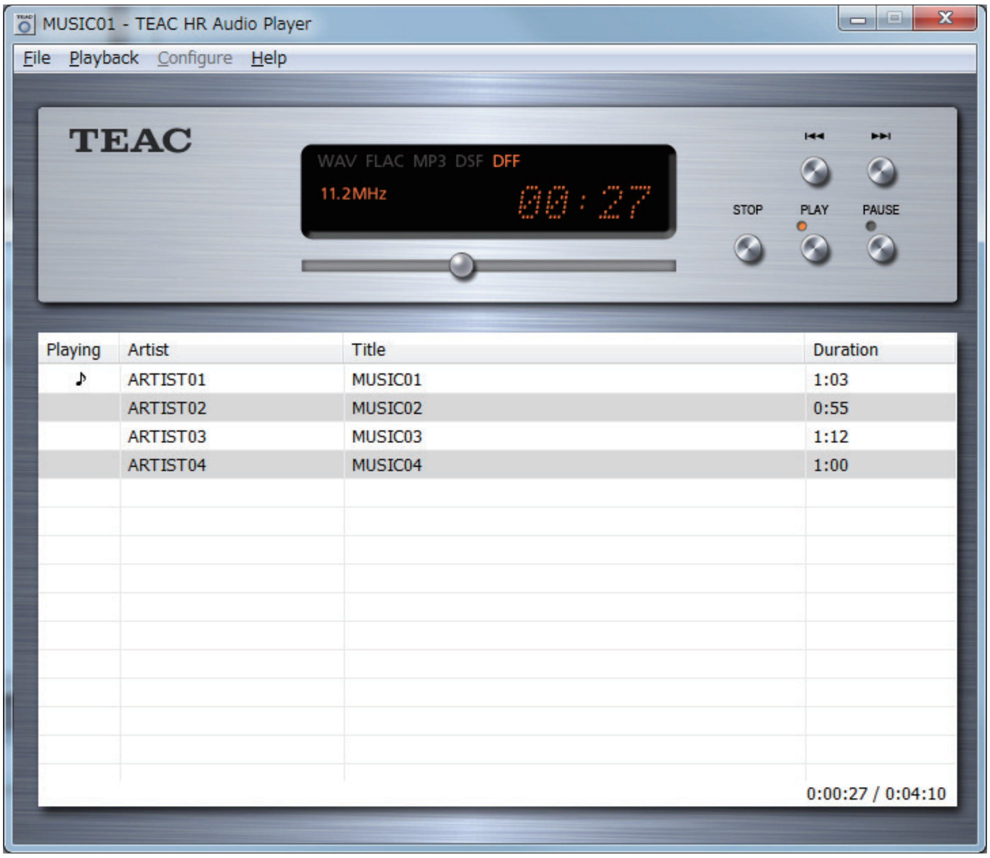
TEAC

TEAC HR Audio Player

ティアック USB AUDIO DAC 専用
音楽再生ソフトウェア

取扱説明書



目次

概要 3
　高音質ファイル再生を誰でも簡単に楽しめる 3
　対応製品および OS 3

特長 4
　対応する TEAC 製品で簡単・高音質音楽再生 4
　シンプルな画面により CPU 負荷を軽減し高音質を実現 4
　その他の特長 4

Windows での設定方法 5
　ソフトウェアのインストール 5
　ソフトウェアの起動 6
　デバイス (USB DAC) のセットアップ 6
　より高音質再生するには 7
　　DSD 再生方式の選択 7
　　データ読み込み方法の選択 7

Mac OS での設定方法 8
　ソフトウェアのインストール 8
　ソフトウェアの起動 9
　ソフトウェアの削除 9
　デバイス (USB DAC) のセットアップ 9
　より高音質再生するには 10
　　DSD 再生方式の選択 10
　　データ読み込み方法の選択 10

操作方法 11
　音源の準備 11
　音源の再生 12
　プレイリストの管理 13
　　プレイリストの保存 13
　　プレイリストの読み込み 13

ソフトウェア修正事項 14
　Windows 版 14
　Mac 版 15

"DSD" は登録商標です。“DSD Disc Format”および DSD Disc Format は、ソニー株式会社の商標です。

ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.

Microsoft, Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

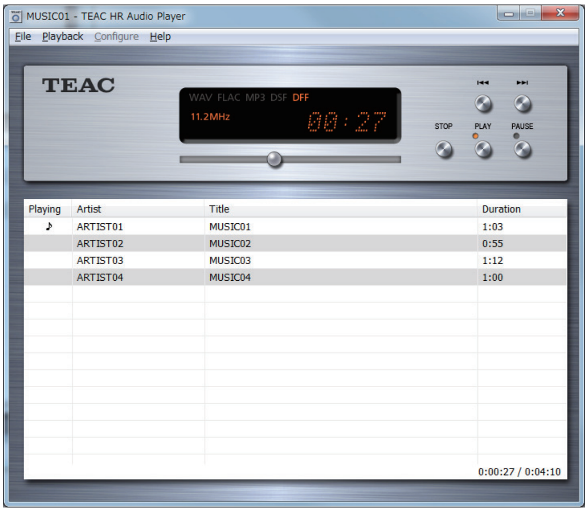
Apple, Macintosh, Mac and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

概要

高音質ファイル再生を誰でも簡単に楽しめる

DSD 11.2MHz/PCM384kHz Windows / Mac OS 両対応音楽再生ソフトウェア。



「TEAC HR Audio Player」は、Windows および Mac OS 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。TEAC UD-503 などのハイレゾ音源に対応した TEAC 製 USB DAC とのコンビネーションにより、複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

従来の DSD 再生ソフトウェアは専門的なものが多く、高音質再生をするには高度な知識と複雑な設定が必要でしたが、「TEAC HR Audio Player」では、インストール後に設定画面で接続した機器を選択すれば高音質再生環境が完成します。あとは、ドラッグアンドドロップで聴きたいファイルをプレーヤー上に並べるだけで、ハイレゾファイルの高音質再生が可能になります。

簡単にハイレゾファイル再生環境を提供するだけでなく、対応機器のポテンシャルを最大限に発揮できるよう、ソフトウェア側でも高音質再生に配慮。画面表示を簡略化し CPU 負荷を軽減することで、よりスムーズに再生ができるよう配慮しています。
DSD ファイル再生 * においては DoP 方式および DSD ネイティブ再生をサポート。リスナーの好みに合わせて再生方法を選択することが可能です。
さらに音質を追い込みたいリスナーには、データを一旦パソコン側のメモリに読み込むことで CPU 負荷変動による音質劣化を避ける RAM バッファ再生機能を搭載しています。

「TEAC HR Audio Player」は、誰でも簡単にハイレゾファイル再生を高音質で楽しむことができる、無料の TEAC 製 USB DAC 専用音楽再生ソフトウェアです。

* DSD ファイル再生が可能なモデルは、DSD 再生対応機器に限られます。
使用可能な再生方式やファイルフォーマットについては、ご使用の機器の取扱説明書をご確認下さい。

対応製品および OS

(2015 年 5 月現在)

再生対応機種

AI-501DA、HA-P50、UD-H01、A-H01、NP-H750、AI-101DA

- DSD ファイルの再生には対応していません。

対応 OS

Windows： Windows Vista (32bit 版、64bit 版)
Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)
Mac OS： OS X Lion (10.7)
OS X MountainLion (10.8)
OS X Mavericks (10.9))
OS X Yosemite (10.10)

DSD 再生対応機種

HA-P90SD、UD-503*、UD-501、UD-301、AI-301DA

対応 OS

Windows： Windows Vista (32bit 版、64bit 版)
Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)
Mac OS： OS X Lion (10.7)
OS X MountainLion (10.8)
OS X Mavericks (10.9)
OS X Yosemite (10.10)

- HA-P90SD は Windows Vista には対応していません。
- 各製品の対応 OS は、取扱説明書またはウェブサイトをご確認ください。

* DSD 11.2MHz ネイティブ再生に対応しています。

特長

対応する TEAC 製品で簡単・高音質音楽再生

UD-503 などの対応する TEAC USB DAC 製品において、インストールするだけで誰でも簡単にハイレゾファイル再生を楽しむことが可能です。専門のソフトウェアと異なり、設定が非常にシンプルな構成となっており、ソフトウェア以外にプラグインなどをインストールする必要もありません。

DSD 11.2MHz 対応機種は Windows、Mac OS 共に DSD ネイティブ再生に対応

UD-503 などの DSD 11.2MHz 対応の機種は、Windows、Mac OS 共に DSD の再生方式は、PCM への変換を行わずにダイレクトに DSD をアナログ化する DSD ネイティブ再生に対応しています。

- DSD 11.2MHz を再生する場合は DSD ネイティブ方式を選択して下さい。

DSD 5.6MHz 対応機種はネイティブ又は DoP 方式による DSD 2.8/5.6MHz ファイル再生に対応

UD-503 などの DSD 再生対応機種と Windows における DSD の再生方式は、PCM への変換を行わずにダイレクトに DSD をアナログ化する DSD ネイティブ再生に対応。または DoP(DSD Audio over PCM Frames) 方式での再生が可能で、2.8MHzDSD ファイルだけでなく 5.6MHzDSD ファイルにも対応しています。

Mac OS においても DSD ファイル再生が可能

UD-503 などの DSD 再生対応機種と Mac OS においても DoP 方式による DSD ファイル再生をサポートしています。Mac と UD-503 によるスタイリッシュなリスニング環境を構築することが可能です。

DSD にとどまらず、様々な形式のハイレゾファイル再生に対応

DSD 2.8/5.6MHz ファイルだけでなく、PCM においても最大 384kHz ファイルの再生に対応。また、FLAC においても最大 384kHz ファイルの再生に対応しています。

対応ファイル形式

DSF (拡張子 dsf)	2.8/5.6/11.2MHz
DSDIFF (拡張子 dff)	2.8/5.6/11.2MHz
PCM (拡張子 wav)	44.1k ～ 384kHz,16 ～ 32bit
FLAC (拡張子 flac)	44.1k ～ 384kHz,16 ～ 32bit
MP3 (拡張子 mp3)	32k ～ 320kbps

- DSD ファイル再生が可能なモデルは DSD 再生対応機器に限られます。
  また、機器側の対応フォーマットを超えてファイル再生を行うことは出来ません。
  詳しくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

シンプルな画面により CPU 負荷を軽減し高音質を実現

簡単にハイレゾファイル再生が楽しめるだけでなく、高音質再生も実現しました。画面表示はオーディオ機器との組み合わせにおいて、オーディオの品位を主張しながらも簡易的な画面表示にとどめることで、画面表示による CPU 負荷を軽減し高音質化を実現。さらに高音質ファイル再生を追い込みたい方のために、パソコン側のメモリにデータを蓄積してから再生するために高音質再生が可能となる RAM バッファ再生を可能にしています。

その他の特長

- プレイリストの作成、保存、読み込みが可能
- プレイリストおよび曲ごとのリピート再生機能
- プレイリストのシャッフル再生機能
  ※対応製品以外では動作しません。

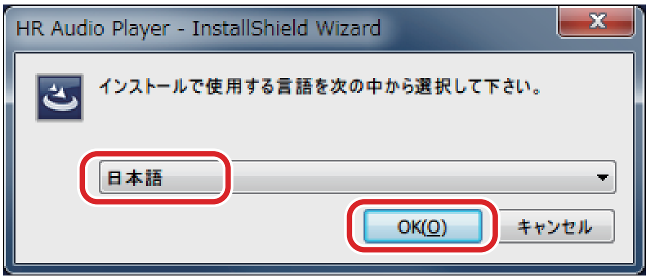
Windows での設定方法

ソフトウェアのインストール

1 ダウンロードしたファイルを解凍する。

2 Setup TEAC HR Audio Player.exe をダブルクリックしてインストールウィザードを開始する。

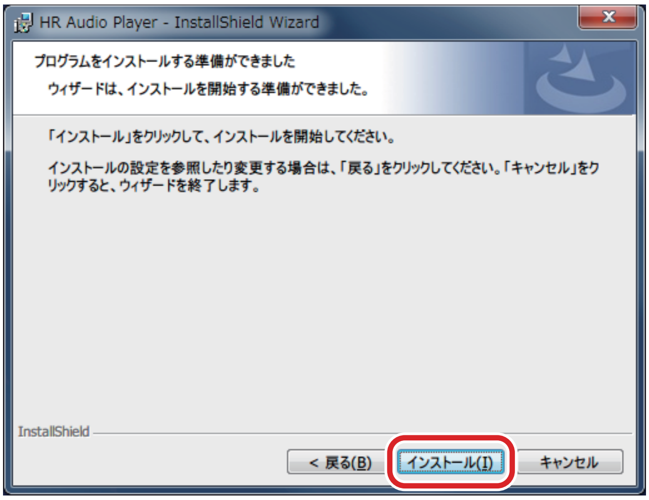
3 インストールで使用する言語を選択して「OK」ボタンをクリックする。



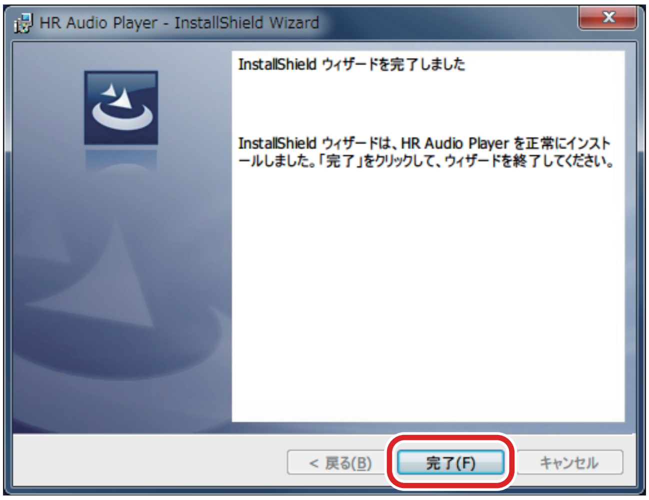
4「次へ」ボタンをクリックする。

5 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択した後、「次へ」ボタンをクリックする。

6「インストール」をクリックする。



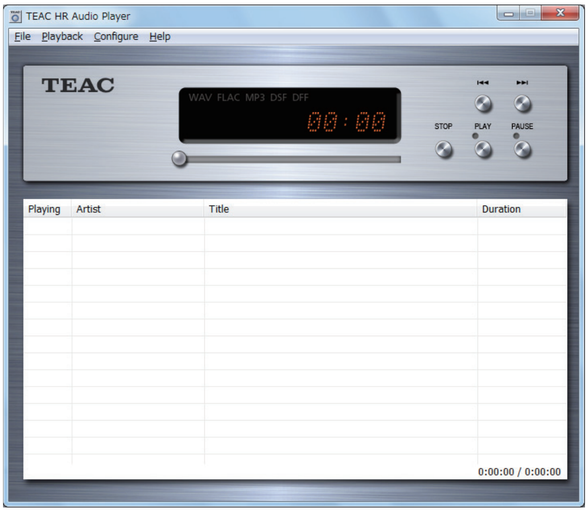
7 ウィザードの完了画面が表示されたら「完了」をクリックしてインストールを終了する。



ソフトウェアの起動

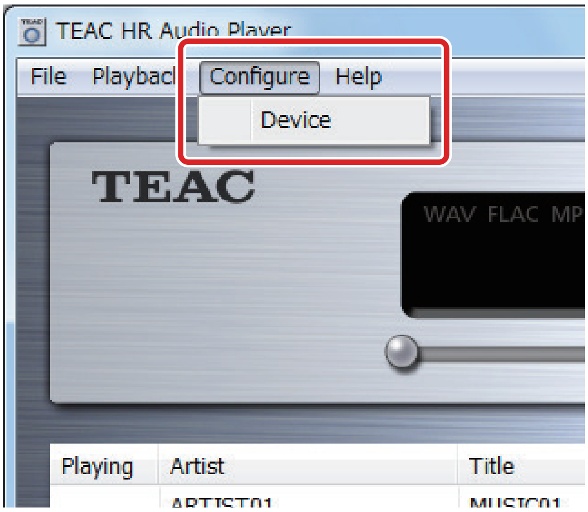
TEAC HR Audio Player は、パソコンに USB DAC を接続してから起動してください。

「TEAC HR Audio Player」を起動すると、メイン画面が表示されます。

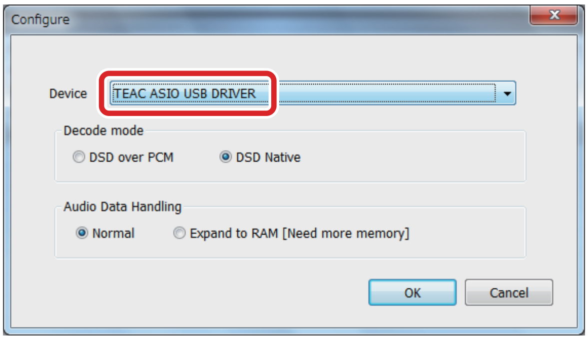


デバイス (USB DAC) のセットアップ

[Configure] メニューから [Device] を選択します。



[Configure] ウインドウが現れますので、[Device] の項目で、接続されている USB DAC (機種名など) を選択してください。



これで「TEAC HR Audio Player」から USB DAC に音声を出力する準備が整いました。

- USB DAC を接続していない状態で本ソフトウェアを起動すると、デバイス設定が消去される場合があります。
  その場合は、USB DAC を接続してから、本ソフトウェアを起動し、再度デバイスのセットアップを行ってください。

より高音質再生するには

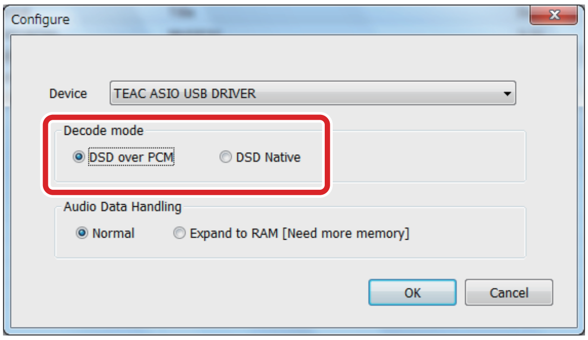
DSD 再生方式の選択

DSD のファイルを再生する場合、「TEAC HR Audio Player」では再生方式を選択することができます。

[Configure] から [Device] を選択し [Configure] ウインドウを開きます。
[Decode mode] の項目で、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

注意

- UD-503 などの DSD Native 再生に対応した機種を接続し、DSD 11.2MHz を再生する場合は、[DSD Native] を選択してください。
- DSD Native 再生に対応していない機種を接続し、[DSD Native] を選択して DSD 11.2MHz を再生した場合、再生はできますが、接続した機器から音は出ません。



[DSD over PCM]

DoP(DSD Audio over PCM Frames) 方式と呼ばれる再生方式で、通常の PCM 方式の信号に DSD 信号を埋め込んで再生します。

- DoP は DSD 11.2MHz の再生に対応していません。

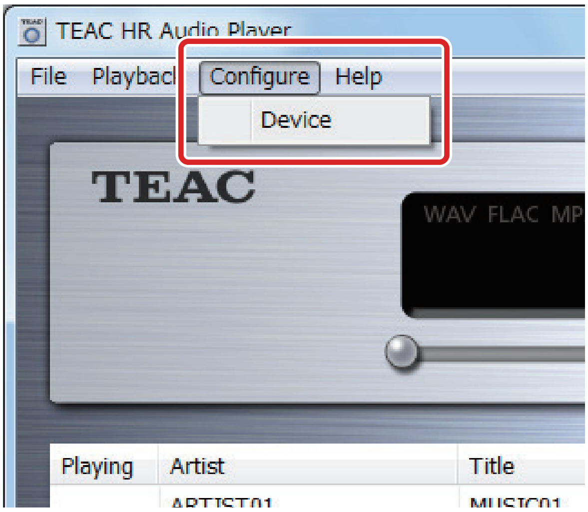
[DSD Native]

ASIO2.1 ドライバーによって、PCM への変換などを行わずに DSD ファイルをダイレクトに転送します。

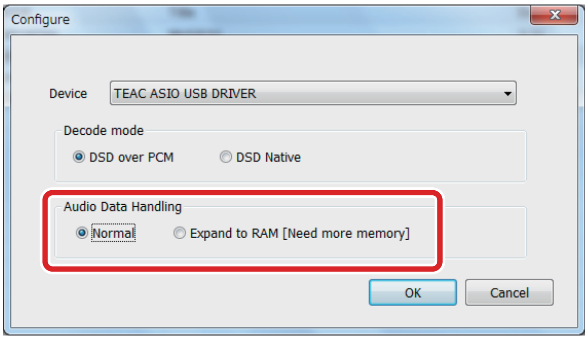
データ読み込み方法の選択

ファイルを再生する場合の、ファイルへのアクセス方法を選択することができます。

[Configure] から [Device] を選択し [Configure] ウインドウを開きます。



[Audio Data Handling] の項目で、[Normal] もしくは [Expand to RAM] を選択することができますので、より高音質の再生を行いたい場合は [Expand to RAM] を選択してください。



[Normal]

通常のファイルのアクセスと同じ方法で読み込みを行います。

[Expand to RAM]

再生するファイルを一旦 RAM に読み込んでから再生します。再生と同時に読み込みを行わないため安定した状態で再生を行うことが可能で、高音質再生を実現します。

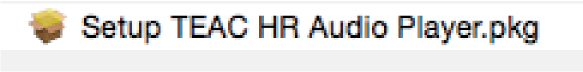
- [Expand to RAM] を選択した場合は、お使いのパソコンの処理速度が遅い場合、再生するまでに時間がかかることがあります。

Mac OS での設定方法

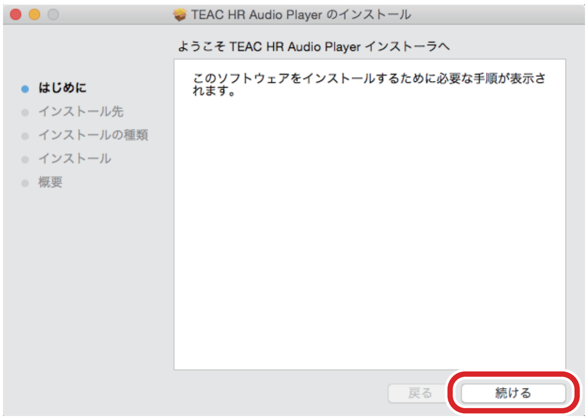
ソフトウェアのインストール

1 ダウンロードしたファイルを解凍する。

2 Setup TEAC HR Audio Player.pkg をダブルクリックしてインストールを開始する。

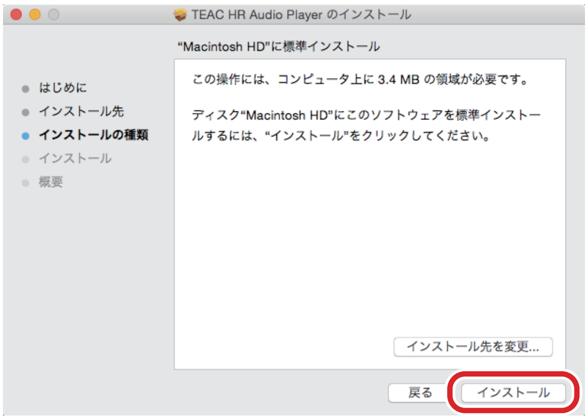


3「続ける」ボタンをクリックする。

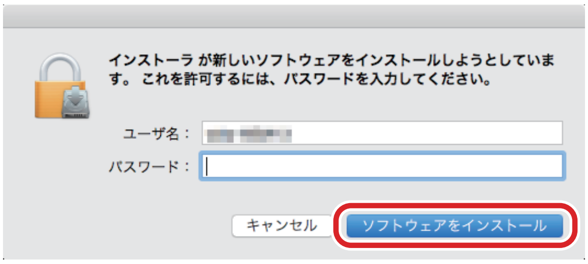


4 インストール先のハードディスクを選択して「続ける」ボタンを押す。

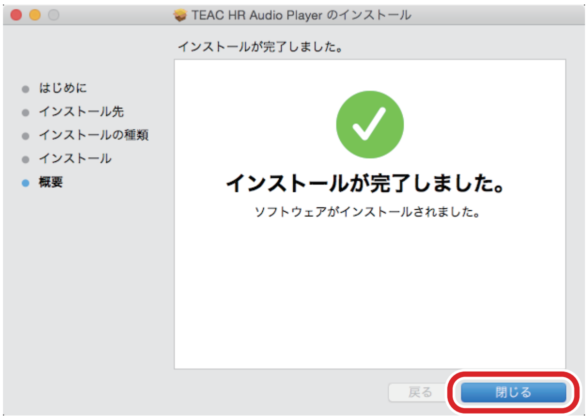
5 インストール先のハードディスクの空き容量が不足していないかを確認して、「インストール」ボタンを押す。



インストールをするには、管理者アカウントとパスワードを入力する必要があります。



6「インストールが完了しました。」と表示されたら「閉じる」ボタンを押してインストールを終了する。



Mac OS での設定方法 (続き)

ソフトウェアの起動

アプリケーションフォルダ内にあるアイコン「TEAC HR Audio Player」をダブルクリックして実行します。

注： 本ソフトウェアは、パソコンに USB DAC を接続してから起動してください。

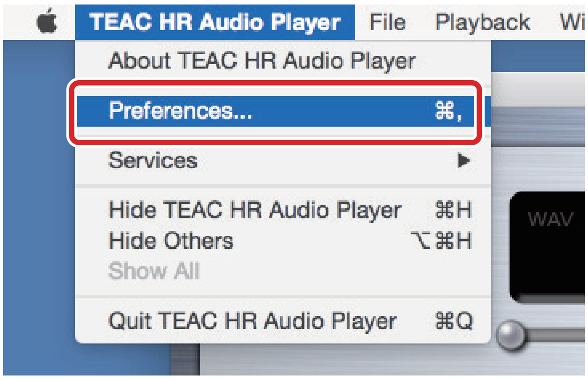
「TEAC HR Audio Player」を起動すると、メイン画面が表示さます。

ソフトウェアの削除

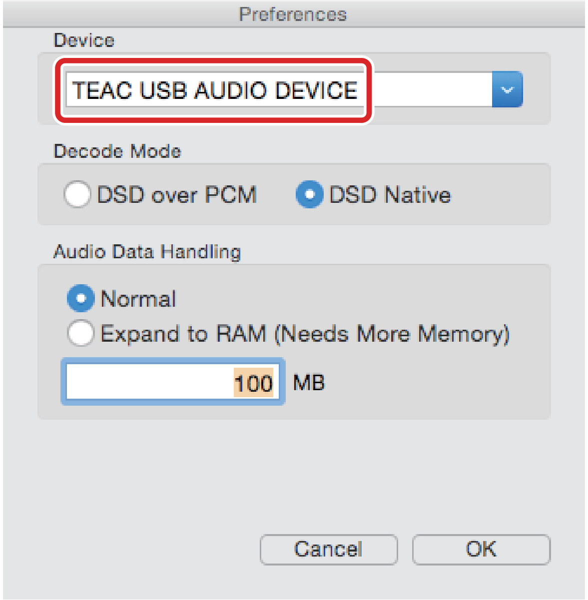
TEAC HR Audio Player を削除したい場合は、アプリケーションフォルダ内にあるアイコン「TEAC HR Audio Player」を削除してください。

デバイス (USB DAC) のセットアップ

メニューバーの [TEAC HR Audio Player] から、[Preferences…] を選択します。



[Preference] ウインドウが現れますので、[Device] の項目で、接続されている USB DAC (機種名など) を選択してください。



これで「TEAC HR Audio Player」から USB DAC に音声を出力する準備が整いました。

- USB DAC を接続していない状態で本ソフトウェアを起動すると、デバイス設定が消去される場合があります。
その場合は、USB DAC を接続してから、本ソフトウェアを起動し、再度デバイスのセットアップを行ってください。

Mac OS での設定方法 (続き)

より高音質再生するには

DSD 再生方式の選択

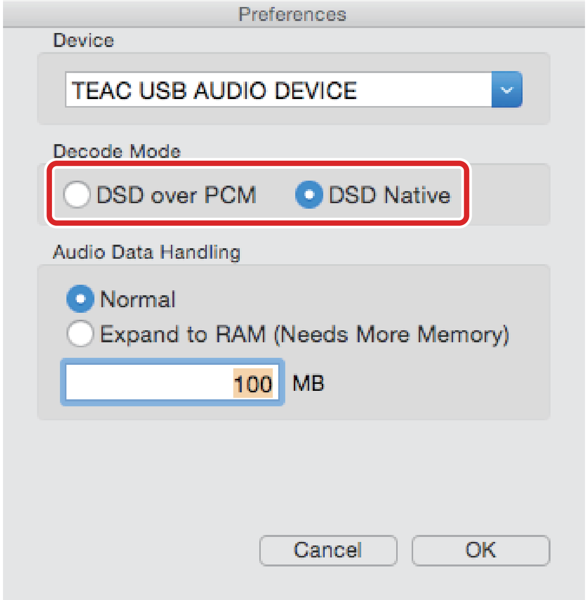
DSD のファイルを再生する場合、「TEAC HR Audio Player」では再生方式を選択することができます。

メニューバーの [TEAC HR Audio Player] から [Preferences…] を選択し [Preference] ウインドウを開きます。

[Decode mode] の項目で、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

注意

- UD-503 などの DSD Native 再生に対応した機種を接続し、DSD 11.2MHz を再生する場合は、[DSD Native] を選択してください。[DSD over PCM] を選択していると再生はできますが、接続した機器から音が出ません。



[DSD over PCM]

DoP (DSD Audio over PCM Frames) 方式と呼ばれる再生方式で、通常の PCM 方式の信号に DSD 信号を埋め込んで再生します。

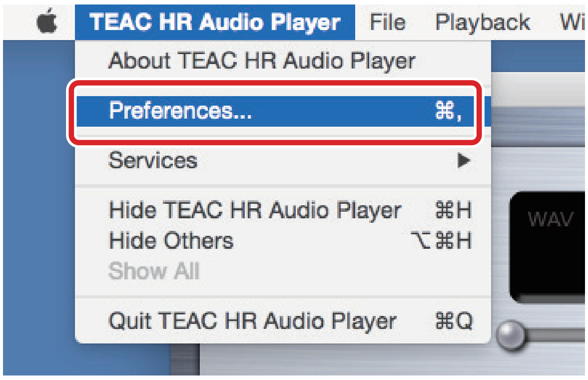
- DoP は DSD 11.2MHz の再生に対応していません。

[DSD Native]

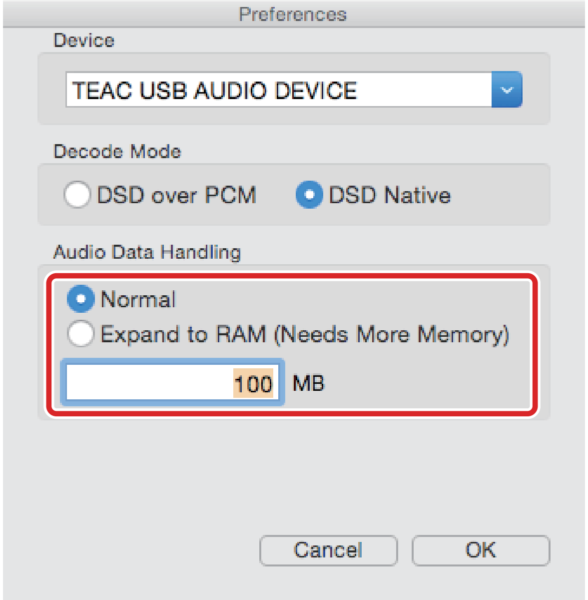
PCM への変換などを行わずに DSD ファイルをダイレクトに転送します。

データ読み込み方法の選択

ファイルを再生する場合の、ファイルへのアクセス方法を選択することができます。
メニューバーの [TEAC HR Audio Player] から [Preferences…] を選択し [Preference] ウインドウを開きます。



[Audio Data Handling] の項目で、[Normal] もしくは [Expand to RAM] を選択することができますので、より高音質の再生を行いたい場合は [Expand to RAM] を選択してください。



[Normal]

通常のファイルのアクセスと同じ方法で読み込みを行います。

[Expand to RAM]

再生するファイルを一旦 RAM に読み込んでから再生します。再生と同時に読み込みを行わないため安定した状態で再生を行うことが可能で、高音質再生を実現します。[Expand to RAM] を選択した場合は、Expand to RAM 機能で使用するメモリの最大容量を設定することができます。よく聴くファイル形式に合わせて楽曲が読み込めるメモリ容量を任意で設定してください。

- [Expand to RAM] を選択した場合は、お使いのパソコンの処理速度が遅い場合、再生するまでに時間がかかることがあります。

操作方法

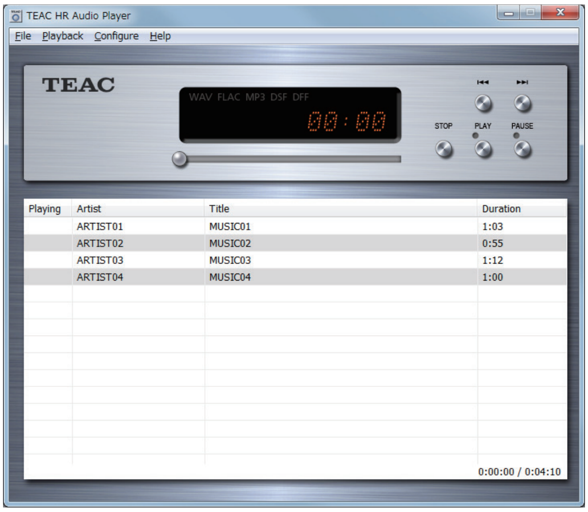
操作方法は WIndows 版と Mac OS 版は共通です。
本取扱説明書では、Windows 版を使って説明します。

音源の準備

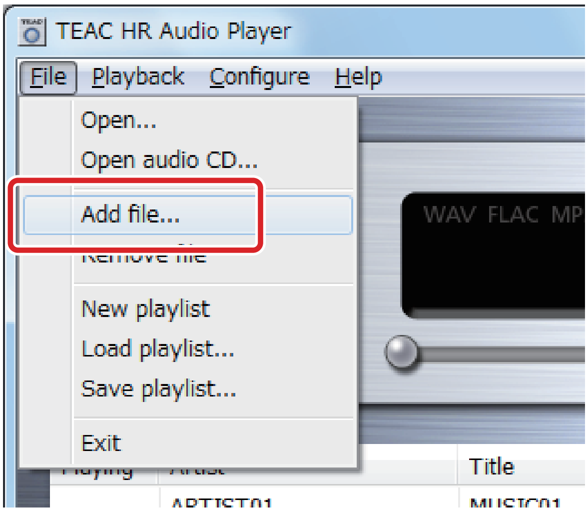
聴きたい音源を、「TEAC HR Audio Player」で再生できるように準備します。

メイン画面下部のスペースをプレイリストと呼びます。まずは聴きたい曲をこのプレイリストに追加します。

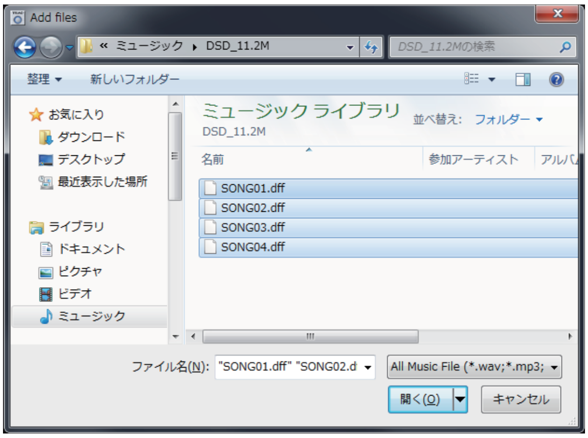
- パソコン上にあるファイルをドラッグアンドドロップで追加することも可能です。



メイン画面において、左上の [File] メニューから [Add file…] を選択すると、[Add file] ウインドウが開きます。



ウインドウ内にて、聴きたいファイルを選択し [開く (O)] をクリックすると、「TEAC HR Audio Player」にファイルが追加されます。
ファイル選択時に、複数のファイルをまとめて選択し [開く (O)] をクリックすることで複数のファイルを一度に追加することも可能です。



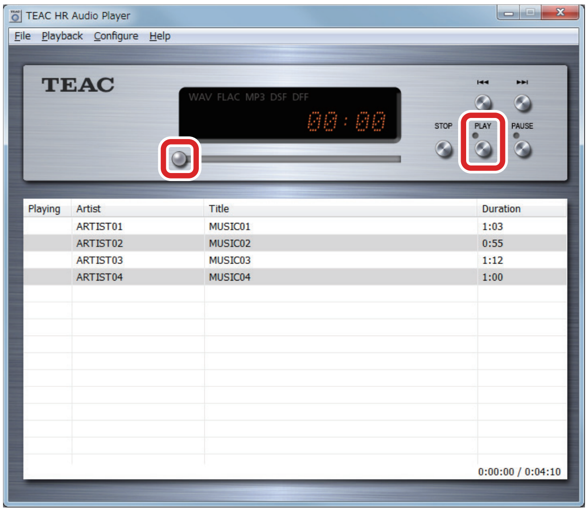
音源の再生

プレイリスト作成後、[PLAY] ボタンをクリックするとリストの先頭から再生を開始します。
停止したい場合は [STOP] ボタンを、一時停止したい場合は [PAUSE] ボタンをクリックします。

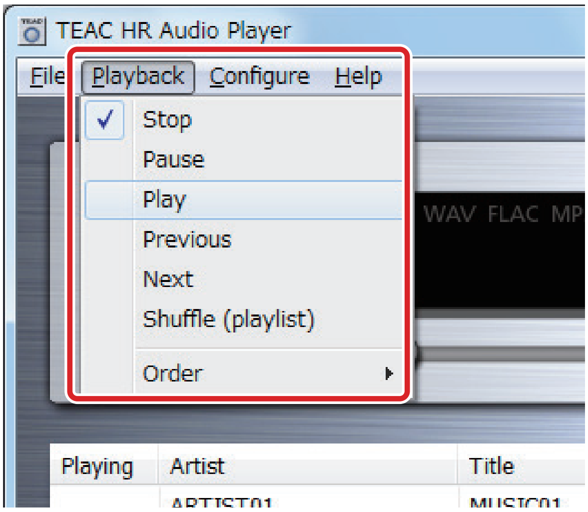
[STOP] ボタンで再生停止した場合は、次に [PLAY] ボタンを押すと、停止したファイルの先頭から再生します。

任意のファイルから再生を開始したい場合は、希望するファイルが表示されている行をマウスでダブルクリックしてください。

再生中に、時間表示部の下にあるスライダーをマウスを使って移動させると、任意の位置に再生ポイントを移動できます。



メイン画面の [Playback] メニューから再生操作を行うことも可能です。



[Stop]
再生中のファイルを停止します。[STOP] ボタンと同じ動作です。

[Pause]
再生中のファイルを一時停止します。[PAUSE] ボタンと同じ動作です。

[Play]
再生を開始します。[PLAY] ボタンと同じ動作です。

[Previous]
ひとつ前の曲（プレイリスト上でひとつ上の曲）に戻ります。

[Next]
次の曲（プレイリスト上でひとつ下の曲）に進みます。

[Shuffle(playlist)]
プレイリスト内の曲をシャッフル（ランダム）再生します。

[Order]
リピート再生の方法を選択するメニューです。

[Order]>[Default]
リピート再生しません。

[Order]>[Repeat(playlist)]
プレイリスト内でリピート再生します。

[Order]>[Repeat(title)]
現在選択されている曲のみリピート再生します。

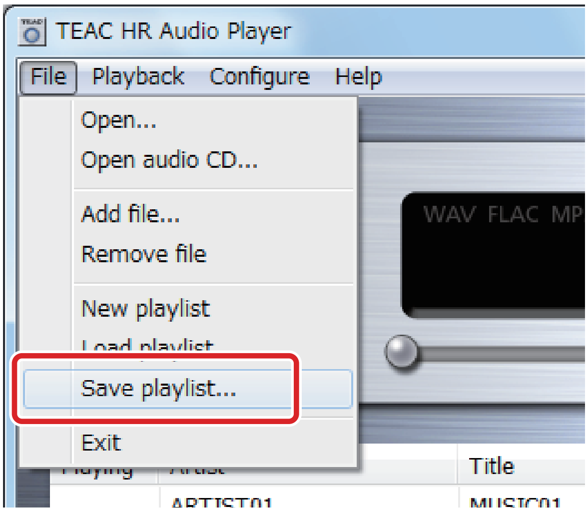
プレイリストの管理

プレイリストに追加した曲をプレイリストとして保存することができます。よく聴く曲を集めたプレイリストを作成しておくと便利です。

- プレイリストとして保存しない場合は「TEAC HR Audio Player」を終了するとプレイリストが削除されます。

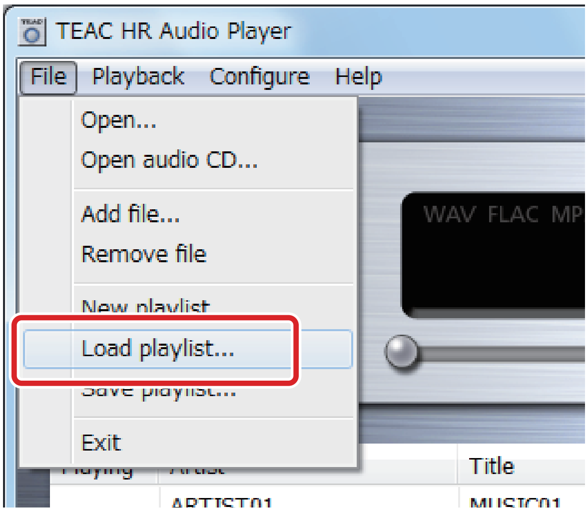
プレイリストの保存

聴きたい曲をプレイリストに追加した状態で、[File] メニューから [Save playlist…] を選択します。[Save playlist] ウインドウが開きますので、任意の場所を選択して [保存 (S)] をクリックするとプレイリストが保存されます。

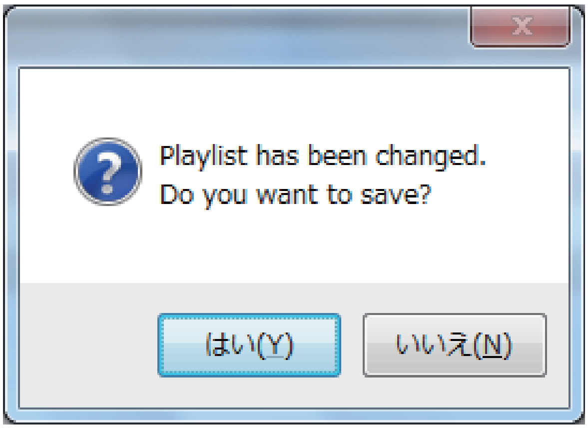


プレイリストの読み込み

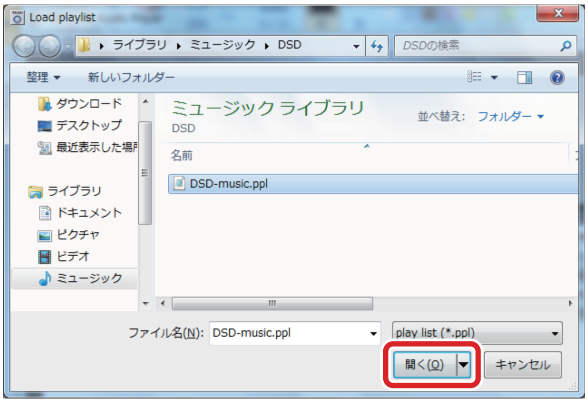
「TEAC HR Audio Player」を起動した直後はプレイリストに何も曲が入っていません。保存されているプレイリストを読み込むことで、すぐに再生の準備を整えることができ便利です。また、既にプレイリストが作成された（曲が追加されている）状態で新たにプレイリストを読み込むこともできます。複数のプレイリストを作成し、曲のジャンルや音源の性質ごとに分けておくと便利です。
[File] メニューから [Load playlist] を選択します。



現在すでにプレイリストが作成されている（曲が追加されている）場合は、以下のようなウインドウが開きます。
保存する必要がある場合は [はい (Y)] を選択し保存してください。
保存する必要がない場合は [いいえ (N)] を選択してください。



[Load playlist] ウインドウが開きますので、プレイリスト (Windows は拡張子 .ppl、Mac OS は .xml) が保存してある場所から任意のプレイリストファイルを選択し、[開く (O)] をクリックすると保存されていたプレイリストが展開されます。



ソフトウェア修正事項

Windows 版

Ver 1.0.0.12

- インストーラ形式でのインストールに対応しました。
- 対応機種に UD-503 を追加しました。
- DSD 11.2MHz に対応しました。
- ジャケット画像がある MP3 ファイルを正常に再生出来ない場合があった不具合を修正しました。

Version 1.0.0.10

- 一時停止を解除して、再生を再開したときにノイズが発生する不具合を修正しました。

Version 1.0.0.9

- HR-S101 アンプ部 (AI-101DA) に対応しました。
- HA-P90SD に対応しました。

Version 1.0.0.8

- UD-301、AI-301DA、HA-P50 に対応しました。
- 再生できなかった一部の mp3 ファイルに対応しました。
- DSD ファイルの再生に対応していない機器の最新 USB ドライバー (Ver 1.1.2.2) に対応しました。
  Ver 1.1.2.2 以上の USB ドライバーをご使用の場合、Version 1.0.0.8 の TEAC HR Audio Player をご使用ください。
- EXPAND to RAM モードで再生する際に必要なメモリ上限値を拡張しました。
  RAM を大量に搭載したパソコンで高音質再生する場合に、より多くのデータを読み込めるようになります。
- Windows 8.1 に対応しました。

Version 1.0.0.5

- WAV ファイルにおいて、UTF-8(ユニコード) 形式の文字コードで記述された曲タイトルあるいはアーティスト名が、正常に表示できるように修正しました。
- プレイリストに設定されたファイルのタグ情報 (曲タイトルまたはアーティスト名) にダブルクォーテーション (”) を含む文字があると、保存時にそのファイルがプレイリストから削除されてしまう不具合を修正しました。この修正はバージョン 1.0.0.5 以降で新たに作成したプレイリストから有効になります。

Version 1.0.0.4

- DSF ファイルにおいて、曲タイトルとアーティスト名情報が認識されず、プレイリストにファイル名のみが表示される不具合を修正しました。（この不具合は、各情報の文字データ量が 127 バイトを超えた場合に発生していました。）

Version 1.0.0.3

- 対応機種に NP-H750 を追加しました。
- TEAC HR Audio Player を起動したままの状態（再生停止状態）で USB 接続を解除し、再度 USB 接続すると Windows がハングアップする不具合を修正しました。

ソフトウェア修正事項 (続き)

Mac 版

Ver 1.0.0.5

- インストーラ形式でのインストールに対応しました。
- 対応機種に UD-503 を追加しました。
- DSD 11.2MHz に対応しました。
- 対応 OS に OS X Yosemte (10.10) を追加しました。

Version 1.0.0.4

- HA-P90SD、HR-S101 アンプ部 (AI-101DA) に対応しました。

Version 1.0.0.2

- UD-301、AI-301DA、HA-P50 に対応しました。
- OS X Mavericks (10.9) に対応しました。

Version 1.0.0.1

- Wav ファイルの曲タイトルとアーティスト名の表示に対応しました。（Windows 版 Ver1.0.0.5 と同様に、UTF-8(ユニコード) 形式の文字コードの表示にも対応しています。）